慶應義塾大学学術情報リポジトリ
Keio Associated Repository of Academic resouces

Title	富田広士教授略歴・主要業績
Sub Title	
Author	
Publisher	慶應義塾大学法学研究会
Publication year	2016
Jtitle	法學研究 : 法律・政治・社会 (Journal of law, politics, and sociology). Vol.89, No.3 (2016. 3) ,p.209- 216
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	富田広士教授退職記念号
Genre	Article
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=AN00224504-20160328-0209

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

富田広士教授略歴

一九五〇年四月六日　東京都に生まれる

学　歴

一九六九年　四月　慶應義塾大学法学部政治学科入学
一九七一年　八月　米国、ミシガン大学留学（サンケイスカラシップ海外留学特別奨学生第八回生）（〜一九七二年九月）
一九七四年　三月　慶應義塾大学法学部政治学科卒業
一九七六年　三月　慶應義塾大学大学院法学研究科修士課程修了
一九七九年　三月　慶應義塾大学大学院法学研究科博士課程単位取得退学
一九七九年　九月　エジプト、カイロ・アメリカン大学アラビア語専科生（〜一九八一年五月）

職　歴

一九七六年　四月　慶應義塾大学法学部助手
一九七九年　四月　慶應義塾大学法学部専任講師

一九八四年　四月　慶應義塾大学法学部助教授
一九八七年一〇月　ヨルダン、ヨルダン大学戦略研究センター　訪問研究員（～一九八八年三月）
一九八八年　三月　英国、エクセター大学政治学科　名誉研究フェロー（～一九八八年九月）
一九九〇年　四月　慶應義塾大学法学部教授（～二〇一六年三月）
一九九一年　四月　慶應義塾大学大学院法学研究科委員を兼ねる（～二〇一六年三月）
二〇〇五年一〇月　慶應義塾大学学生総合センター長（～二〇〇九年九月）

所属学会

日本国際政治学会（元評議員）、日本中東学会、日本アフリカ学会（元監事）、日本オリエント学会、日本比較政治学会、World Congress of Middle East Studies

塾内外で関与した主な研究プロジェクト

「中東・アフリカにおける政治体制の比較研究」一九八九年度～一九九〇年度慶應義塾大学地域研究センター共同研究プロジェクト
「北東アフリカ諸国における経済自由化と民主化の比較考察」一九九七年度～一九九九年度科学研究費補助金　基盤研究C－2　文部科学省・日本学術振興会
「多文化多世代交差世界の政治社会秩序形成―多文化世界における市民意識の動態」慶應義塾大学多文化市民意識研究センター、21世紀COEプログラム（二〇〇三年度～二〇〇七年度）事業推進担当者、*Journal of Political Science and Sociology(JPSS)* 編集長

「アジアのなかの中東：経済と法を中心に」文部科学省「世界を対象としたニーズ対応型地域研究推進事業」（エジプトにおける全国世論調査研究協力者）、二〇〇八年一月～二〇〇九年三月

「市民社会におけるガバナンスの教育研究拠点」慶應義塾大学市民社会ガバナンス教育研究センター、グローバルＣＯＥプログラム（二〇〇八年度～二〇一二年度）事業推進担当者

「中東における政治変動と政治的ステレオタイプの変化に関する研究」文部科学省「人文学及び社会科学における共同研究拠点の整備の推進事業」（エジプトでの全国世論調査研究協力者）、二〇〇八年一〇月～一二月

富田広士教授主要業績

［著書・編著書］

『中東・アフリカ現代政治―民主化・宗教・軍部・政党―』（共編著）（慶應義塾大学地域研究センター叢書1）
勁草書房、一九九三年（第二刷・一九九五年）

『地域研究と現代の国家』（共編著）
慶應義塾大学出版会、一九九八年

『北東アフリカ諸国における経済自由化と民主化の比較考察』（単著）
（平成九年度～平成一一年度科学研究費　基盤研究C－2：09620075　研究成果報告書）、二〇〇二年

『市民社会の比較政治学』（共編著）（叢書21COE－CCC多文化世界における市民意識の動態21）
慶應義塾大学出版会、二〇〇七年

［事典・ハンドブック］

『世界政治ハンドブック』
有斐閣、一九八二年

『大百科事典』
平凡社、一九八四年

『アフリカを知る事典』
平凡社、一九八九年

『現代政治学事典』
ブレーン出版、一九九一年

『世界民族問題事典』
平凡社、一九九五年

『CD-ROM世界大百科事典』　日立デジタル平凡社、一九九八年（第二版・二〇〇〇年）
『新訂増補　アフリカを知る事典』　平凡社、一九九九年（新版・二〇一〇年）
『岩波イスラーム辞典』　岩波書店、二〇〇二年

［論文］

「アメリカの対サウジアラビア政策―一九四一年～一九四五年―」　『法学研究』第五一巻第九号、一九七八年
「エジプトの議会制度とその課題」　『中東通報』中東調査会、第二七四号、一九八一年
「エジプト政府の貧困対策について」　『法学研究』（遠峰四郎教授退職記念論文集）第五四巻第三号、一九八一年
「エジプト経済開発政策の問題点―アブドゥッ・ナーセル政権―」　『現代中国と世界―その政治的展開―　石川忠雄教授還暦記念論文集』慶應通信、一九八二年
「サダト政権の国内『自由化』政策―一九七四年～一九七八年―」　『国際政治』（中東：一九七〇年代の政治変動）第七三号、一九八三年
"The Decline of Legitimacy in Sadat's Egypt: 1979-1981"　『アフリカ研究』日本アフリカ学会編、第二七号、一九八五年
「エジプト・サダト政権初期の国内政治―一九七〇～七三年―」　『法学研究』（石川忠雄教授退職記念号）第六〇巻第一号、一九八七年
「中東における軍部の政治介入―アモス・パールムッター教授の所説―」　『三色旗』第四六九号、一九八七年
「アラブにおける軍部の政治介入―エジプトを中心として―」　『中東通報』第三一二号、一九八七年
「エジプト・一九五二年革命における社会経済改革の位置」　『法学研究』第六一巻第五号、一九八八年
「アラブ政権の正統性―ヨルダンとエジプト―」　『法学研究』第六二巻第九号、一九八九年

「現代エジプトの歩み―オラービーからムバーラクまで―」
歴史教育者協議会編『一〇〇問一〇〇答・世界の歴史』河出書房新社、一九九〇年
「ブラック・アフリカの対アラブ認識」
小田英郎編著『アフリカの政治と国際関係』勁草書房、一九九一年
「ナーセル、サーダート両政権とエジプトの民間部門―ジョン・ウォーターベリー氏による研究の整理―」
小田英郎・富田広士編『中東・アフリカ現代政治―民主化・宗教・軍部・政党―』勁草書房、一九九三年（第二刷・一九九五年）
「中東におけるデモクラシーの可能性―イスラーム圏―」
『聖学院大学総合研究所Newsletter』Vol. 4-1、一九九四年
「中東におけるデモクラシーの可能性―アラブ地域―」
『聖学院大学総合研究所紀要』No. 6、一九九五年
「中東の国造り」
『三色旗』第五七〇号、一九九五年
「一九六〇年代エジプトにおける自由化の萌し」『法学研究』（賀川俊彦教授退職記念号）第六八巻第一〇号、一九九五年
「経済自由化萌芽期の対外環境―一九六〇年代前半のエジプト―」
『法学研究』（小田英郎教授退職記念号）第七一巻第一号、一九九八年
「開発戦略の転換と政府主導性―エジプト、一九六四年～六七年―」
富田広士・横手慎二編『地域研究と現代の国家』慶應義塾大学出版会、一九九八年
「世界の食糧問題」
『三色旗』第六一九号、一九九九年
「『アラブ社会主義』の再検討」『CASニューズレター』慶應義塾大学地域研究センター、No. 一〇〇、二〇〇〇年
「エジプト、ザカリア・モヒエッディーン内閣期の開発政策―一九六五年～一九六六年―」
『法学研究』（山田辰雄教授退職記念号）第七五巻第一号、二〇〇二年
「イラク危機に際して」
中東調査会編『イラク問題と日本人』明石書店、二〇〇三年
「9月11日事件をどう見るか」
『三色旗』第六六三号、二〇〇三年

“Development Policy under Zakaria Muhi al-Din's Cabinet: 1965-1966,” *Keio Journal of Politics* Vol.12, 2003
（「エジプト、ザカリア・モヒエッディーン内閣期の開発政策―一九六五年～六六年―」）
（『法学研究』第七五巻第一号、二〇〇二年の英訳）

“Perspective on the 9/11 Incident: Islamism and Middle Eastern Society,” *Journal of Political Science and Sociology* Vol.1, 2004、慶應義塾大学21世紀ＣＯＥ－ＣＣＣ　慶應義塾大学多文化市民意識研究センター
（「九月一一日事件をどう見るか」『三色旗』第六六三号、二〇〇三年の英訳）

「中東における市民社会論の展開―一九九〇年代以降のアラブ世界とイラン―」
山本信人編『多文化世界における市民意識の比較研究―市民社会をめぐる言説と動態―』（叢書21ＣＯＥ－ＣＣＣ　多文化世界における市民意識の動態　11）、慶應義塾大学出版会、二〇〇五年

「アラブの春」
『三色旗』第七〇九号、二〇〇七年

「主要3宗派からみるレバノン市民の対外態度」
小林良彰・富田広士・粕谷祐子編『市民社会の比較政治学』慶應義塾大学出版会、二〇〇七年

“Comparative Political Awareness of Cairo and Lebanese Citizens: A Report on the 2005 Lebanese and 2007 Egyptian Public Opinion Surveys”
『法学研究』第八三巻第六号、二〇一〇年

“Islamism, Egyptian Nationalism, or Arabism?: Comparison of the 2007 Survey of the Greater Cairo Area and the Opinion Survey in Egypt 2008”
『日本中東学会年報』二七－一号、二〇一一年

「アラブの民主化はどこへ向かうのか」（座談会―アルモーメン・アブドーラ、池内恵、畑中美樹、奥田敦）
『三田評論』一一四九号、二〇一一年

「大統領選挙後のエジプト」
『三田評論』一一六〇号、二〇一二年

「アラブ民主化の行方―エジプトを中心に―」（慶應義塾大学法学部法学研究所講演会講演録）
『法学研究』第八六巻第一号、二〇一三年

「アラブの春とイスラーム国」
『三色旗』第八〇三号、二〇一五年

“Egyptians’ Consensus Formation Checked against Their Political Culture”
『法学研究』第八九巻第三号、二〇一六年

［翻訳］

ナズィーフ・アユービー「サウジアラビアおよび湾岸諸国における安全保障のジレンマと政軍関係」
小田英郎・富田広士編『中東・アフリカ現代政治―民主化・宗教・軍部・政党―』勁草書房、一九九三年（第二刷・一九九五年）

ムスタファ・カーミル・アッサイード「中東の市民社会」（今井真士との共訳）
小林良彰・富田広士・粕谷祐子編『市民社会の比較政治学』慶應義塾大学出版会、二〇〇七年